平成 29 年度事業 事後評価・決算

事務事業マネジメントシート

-	事務事業名	交付金活用道路修	繕事業	所属部	建設部	所属課 建設工務課
総		Ⅱ〉安全・安心で快過	箇なまち≪定住環境≫	所属G	公共土木G	課長名 渡部 克彦
合	施策名(12〉生活道路の整備		担当者名	松村 直樹	電話番号 0854-40-1063
計			市内を安全に移動できる。	12366		(内線) 2472
画	画 的 家 追路(中追)			予算科目	会計: 款 ^{大事業} 大	
体工	基本事業名	036〉生活道路の維持	寺管理	J. #-14 F	0 1 4 0 0 2 業	名
杀	目対 的象 <mark>道路利用</mark>	者	意 安全に移動できるように道路を維持管理図 報を発信する。	し、情	項 目 中事業 中 1 0 1 0 1 9 業	事 交付金活用道路修繕事業

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間 単年度のみ ▼ 単年度繰返 (26 年度~) □ 期間限定複数年度 年度~ 年度)

② 事業内容

(期間限定複数年度事業は全体像を記述)

- ・道路維持管理計画に基づき、防災・安全社 会資本整備交付金を活用し、修繕を実施す
- ・通学路安全プログラムに基づき、計画的な 整備及び修繕等を実施する。

(2	2)事務事業の手段・指標									
	① 主な活動									
	29年度実績(29年度に行った主な活動	力)		30年度計画(30年度に計画する主な活動)						
	·市道梅木曽木線舗装工事 他3路	各線		•道路	ストック点検	結果に基づ	き、道路維			
	• 市道大島引野線落石対策工事	他3路	線	持管理計画を見直し、計画的な修繕を実						
	•市道山方寺領線測量設計業務	他1路	施する。							
ュ				・通学路安全プログラムに基づき、計画的						
手				な整備及び修繕等を実施する。						
段										
	② 活動指標	単位		丰度	28年度	29年度	30年度			
		+12	(実	:績)	(実績)	(実績)	(計画)			
ア	契約件数	件		5	15	9	2			
ļ <u></u> .			ļ							
1	修繕筒所(工区)数	筃所		5	11	7	2			
ļ										
1										

(3) 事務事業の目的・指標

()	り事物事業の日的・拍捺							
Ш	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	①生活道路の利用者	ア	人口【国勢調査(推計)】	人	39,032	38,506	37,794	37,987
	②修繕が必要な生活道路等	イ	雲南市市道延長	km	1,158	1,160	1,112	1,112
		ゥ						
的	② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	①市内を安全で迅速に移動できるように	ア	生活道路が安全で便利だと感じ ている市民の割合	%	60.0	71.9	69.2	59.5
	する。 ②修繕(補修)等を実施する。	イ	生活道路で危ない場所があると 感じている市民の割合	%	71.0	51.7	53.3	70.5
		ウ	施工箇所	箇所	5	5	15	2

(4) 事份事業のコヘト								
① 事業費の内訳(29年度決算)		2	コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
【舗装】4路線 5箇所 38,917千円		п	国庫支出金	千円	46,772	42,000	55,331	31,000
【落石対策】4路線 5箇所 28,916千円		財源	県支出金	千円				
【構造物】2路線 5箇所 22,168千円	争業		地方債	千円	25,500	23,000	33,700	19,400
計10路線 15箇所 90,001千円		訳	その他	千円	873			
	Ą	ш	一般財源	千円	5,981	797	2,484	1,300
需用費1,251千円			事業費計(A)	千円	79,126	65,797	91,515	51,700
使用料及び賃借料263千円	人		正規職員従事人数	人	4	2	3	
	件		延べ業務時間	時間	100	200	300	
	費		人件費計(B)	千円	391	793	1,223	
		トー	タルコスト(A)+(B)	千円	79,517	66,590	92,738	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

(1) 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況	兄(対
象者や根拠法令等)はどう変化しているか?	開始
時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか	?)

② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革 改善をしているか?)

③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して 市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や 要望が寄せられているか?)

道路維持は、全ての改善要望に対して充分 応えることが出来ない。安全確保の必要性が┃会資本整備交付金を活用することで、修 高いものから順に補修、修繕作業を行ってい る。道路維持修繕は地域要望の中で最も多 いものとなっている。また、多くの構造物が更 新時期となっており、今後、更に事業費が必 要となっている。

・道路ストック点検を実施し、防災・安全社 繕予算を確保し、計画的な修繕の早期対 応を目指している。

・平成24年度に道路維持管理計画を策定 し、大規模修繕対応を別事業とした。

・市民から危険箇所等多数の改善要望。 ・議会から維持修繕の重要性と着実な実施の指摘 がある。

雲南市(H27年2月改正版)ver.1.3

所属部 <mark>建設部</mark>

所属課 建設工務課

2	事後評価	[SEE]
_	于 及 1	

	1	_	体系との整合性	_			? 意図することが結びついているか?	見直し余地があるとする理由
A		□ §	見直し余地がある) / 結	いつい	いている	* 余地がある場合	
目的		_					税金を投入して達成する目的か?	
妥	│ □ 見直し余地がある □ 妥当である │					ある	* 余地がある場合	
妥当性	3	対象	・意図の妥当性	対象を限定・追加	ロする必要	要はないか?意図を限定	≧・拡充する必要はないか?	
			見直し余地がある	· 区 遊	切では	ある	* 余地がある場合	
				果を向上させる余り	也はある			が原因で成果向上が期待できないのか?
			句上余地がある 句上余地がない		TM 45	・追路ハトローノ成果は既に最力		国に基づき修繕等を行っているため、
					理由			優先度評価や特定財源の確保に努
	⑤ .	廃止	・休止の成果への	の影響 この事	務事業を		その向上を図った。 経の有無とその内容は?	
В			影響無				道路の安全性が低下する。	
有効	'	✔ 芽	影響有		理由	・市氏からの修治	繕要望に応えられなくなる。	
姓	(C)	本工 (1/1	古世しの仕広へ	す機の可能を				
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 □ 他に手段がある *ある場合■						外の手段(類似事業)はないか? ある場合	、その類似事業との統廃合・連携ができるか?
			🕓 🔲 統廃合·遵	連携ができる 連携ができない	や類似	(事業名)	引示了 这些处针之上之类的4	**************************************
				≟捞かでさない	理由		計画で、週吊稚持でめる追路が しており、類似事業の統廃合に	推持補修事業と大規模修繕である本事 はない。
	-		也に手段がない		理田			
				成果を下げずに事	業費を肖		5工法の適正化、住民の協力など)	
			削減余地がある 削減余地がない				等に必要な経費である。	=+
С						• 修 矮 男 岁 甫 昕	は多く 太事業の拡充を望むき	
効率					理由	•修繕要望固所	は多く、本事業の拡充を望む声	¹ ପଣ୍ଡର
	(8)	人件		引)の削減余地				
性			費(延べ業務時間 削減余地がある	引)の削減余地		を下げずにやり方のエミ ・道路維持管理	たで延べ業務時間を削減できないか? 』 等に必要な経費である。	E職員以外や外部委託ができないか?
性			費(延べ業務時間	間)の削減余地		<u>を下げずにやり方のエ</u> ま ・道路維持管理	Fで延べ業務時間を削減できないか? 』	E職員以外や外部委託ができないか?
性			- <u>費(延べ業務時間</u> 削減余地がある 削減余地がない		理由	を下げずにやり方のエラ ・道路維持管理 ・修繕要望箇所	<u>にで延べ業務時間を削減できないか? 』</u> 等に必要な経費である。 は多く、本事業の拡充を望む声	E職員以外や外部委託ができないか?
D		□ 育 ▼ 育	費(延べ業務時間 削減余地がある 削減余地がない 機会・費用負担の	の適正化余地	理由	を下げずにやり方のエデ・道路維持管理・修繕要望箇所 ・容が一部の受益者に偏	で延べ業務時間を削減できないか?』 等に必要な経費である。 は多く、本事業の拡充を望む声	E職員以外や外部委託ができないか? 事もある。 負担が公平・公正か?
D	9	受益	- <u>費(延べ業務時間</u> 削減余地がある 削減余地がない	の適正化余地	理由	を下げずにやり方の工業・道路維持管理・修繕要望箇所 ・修繕要望箇所 ・作内全域の道	<u>にで延べ業務時間を削減できないか? 』</u> 等に必要な経費である。 は多く、本事業の拡充を望む声	E職員以外や外部委託ができないか? 「もある。 「もある。 「もある。 「もある。
	9	受益	費(延べ業務時間 削減余地がある 削減余地がない 機会・費用負担の 見直し余地がある	の適正化余地	理由事業内	を下げずにやり方の工業・道路維持管理・修繕要望箇所 ・修繕要望箇所 ・作内全域の道	たで延べ業務時間を削減できないか? 』 等に必要な経費である。 は多く、本事業の拡充を望む声 いていて不公平ではないか? 受益者 路維持管理を行うものであり公	E職員以外や外部委託ができないか? 「もある。 「もある。 「もある。 「もある。
D公平性	9	受益して	費(延べ業務時間 削減余地がある 削減余地がない 機会・費用負担の 見直し余地がある	の適正化余地	理由事業内	を下げずにやり方の工業・道路維持管理・修繕要望箇所 ・修繕要望箇所 ・作内全域の道	たで延べ業務時間を削減できないか? 取等に必要な経費である。は多く、本事業の拡充を望む声いていて不公平ではないか? 受益者質路維持管理を行うものであり公道路維持管理であるため、受益	E職員以外や外部委託ができないか? 「もある。 「もある。 「もある。 「もある。 「もおる。 「も担が公平・公正か?」 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
D公平性 評	9	□ 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章	費(延べ業務時間 割減余地がある 割減余地がない 機会・費用負担の 見直し余地がある 公平・公正である	の適正化余地 う で価結果	理由 事業が	を下げずにやり方の工法・道路維持管理・修繕要望箇所・修繕要望箇所・市内全域の道・市が行うべき	で延べ業務時間を削減できないか? 等に必要な経費である。 は多く、本事業の拡充を望む声 っていて不公平ではないか? 受益者が 路維持管理を行うものであり公 道路維持管理であるため、受益 (2) 1次評価結果の総括(根 ・本事業は市民、議会及び即	E職員以外や外部委託ができないか? 「もある。 「もある。 「もある。 「もある。 「もおいなでは、ない。」 「もおいる。」 「おります」 「おりまます」 「おります」 「おりますることは、「おります」 「おります」 「おりまする」 「おります」 「おります」 「おりまする」 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「まりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「まりまする。 「まりまする
D公平性 評	9	受益ががががりりかりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり	費(延べ業務時間 削減余地がある 削減余地がない 機会・費用負担の 見直し余地がある 公平・公正である 評価者としての評	の適正化余地 う で価結果 「▼ 適切	理由事業中理由	を下げずにやり方の工業・道路維持管理・修繕要望箇所 ・修繕要望箇所 ・作内全域の道	まで延べ業務時間を削減できないか? 3 等に必要な経費である。 は多く、本事業の拡充を望む声 っていて不公平ではないか? 受益者負 路維持管理を行うものであり公 道路維持管理であるため、受益 ② 1次評価結果の総括(根 ・本事業は市民、議会及び取れていると考えている。	E職員以外や外部委託ができないか? 「もある。 「もある。 「もある。 「もある。 「もおる。 「も担が公平・公正か?」 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
D公平性 評価の	9	□▼ 受□▼ 1 A B C 次 目 有 効	費(延べ業務時間 削減余地がある 削減余地がない 機会・費用負担の 売直し余地がある 公平・公正である 評価者としての評 的妥当性 対性 対性	の適正化余地 で価結果 「適切」 「適切」 「適切」	成果 理由 見見見	を下げずにやり方の工デ・道路維持管理・修繕要望箇所・の受益者に偏いである。 であった である でいます できない しまい あいり 直し余 地あり 直し 余 地あり	まで延べ業務時間を削減できないか? 3 等に必要な経費である。 は多く、本事業の拡充を望む声 っていて不公平ではないか? 受益者負 路維持管理を行うものであり公 道路維持管理であるため、受益 ② 1次評価結果の総括(根 ・本事業は市民、議会及び取れていると考えている。	E職員以外や外部委託ができないか? 「もある。 「種担が公平・公正か? ・
D公平性	9	□▼ 受□▼ 1 A B C 次 目 有 効	費(延べ業務時間 削減余地がある 削減余地がない 機会・費用負担の 売直し余地がある 公平・公正である 評価者としての評 的妥当性 対性 対性	の適正化余地 で価結果 「適切」 「適切」 「適切」	成果 理由 見見見	を下げずにやり方の工法 ・道路維持管理 ・修繕要望箇所 ・作力全域の道 ・市が行うべきに ・市が行うべきに 直し余地あり 直し余地あり	まで延べ業務時間を削減できないか? 等に必要な経費である。 は多く、本事業の拡充を望む声 いていて不公平ではないか? 受益者負 路維持管理を行うものであり公 道路維持管理であるため、受益 ② 1次評価結果の総括(根 ・本事業は市民、議会及び明れていると考えている。 ・対応できなかった修繕を計	E職員以外や外部委託ができないか? 「もある。 「種担が公平・公正か? ・

3 今後の方向性【PLAN】	
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果
□廃止 □休止 □目的再設定 □事業統廃合・連携 □事業のやり方改善(有効性改善) □事業のやり方改善(効率性改善) □事業のやり方改善(公平性改善) □現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	**・・・・・・ 削減 維持 増加
・平成24年度に策定した「道路維持管理計画」に基づき平成25年度より、一定規模以上の維持修 繕は「道路維持補修事業及び道路施設整備事業」により修繕を図っている。 ・平成24年度末で終了した公共施設リフレッシュ事業の代替事業として、「道路愛護事業」により、 草刈等の維持業務を実施する。	向 上 成維 果持
・道路維持予算を維持していかなければ、道路施設の老朽化が進み、市民生活に多大な影響が出ることが予想される。 ・防災・安全社会資本整備交付金を活用することで、修繕予算を確保し、計画的な修繕の早期対応を目指している。	(低 下 × ×
	廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上 しない、もしくはコスト維持で成果低下では 改革・改善とはならない。